

中学校 技術・家庭科(家庭分野)	人生に必要な「お金」を知ろう ～計画的な金銭管理～ (2025.9)
-----------------------------------	--

1. 本時の位置付け

本時は、中学校学習指導要領(平成29年告示)及び同解説【技術・家庭編】に記載されている以下の内容の一部と関連します。

展開①	【使う】 生活設計 (ライフプランニング)	技術・家庭科【家庭分野】 C(1)ア (ア) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。 (イ) 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。 C(1)イ 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。 <解説> ・生活に必要な物資・サービスについての金銭の流れを把握し、多様な支払い方法に応じた計画的な金銭管理が必要であることを理解できるようにする。 ・各家庭におけるそれぞれの状況に応じて、物資・サービスが必要かどうかを判断し、必要なものについては、優先順位を考慮して調整することが重要であることを理解できるようにする。 ・生活に必要な物資・サービスには、衣食住や、電気、ガス、水、交通などのライフラインに係る必需的なものや、教養娯楽や趣味などに係る選択的なものがあることに気付くようにする。
展開②	【使う】 家計管理と決済	

また、金融リテラシー・マップとの関係では、「分類1 家計管理」、「分類2 生活設計」の学習を含んでいます。

2. 本時の目標

- ・ 思い描く人生をおくるためには、収支のバランスを考えて、計画的に金銭管理を行う必要があることを理解する。

3. 評価のポイント

- ・ 思い描く人生をおくるためには、収支のバランスを考えて、計画的に金銭管理を行う必要があることを理解している。

4. 本時の流れ ※「学習活動」及び「指導上の留意点」の#は、標準講義資料のスライド番号を示している。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
導入 5分	【はじめに】 金融リテラシーってなに？	(問)どのような人生を送りたいですか。(＃4) ○どのような人生を送りたいかについて交流する。 ●思い描く人生にするためには、「お金」が必要であり、そのための知識(金融リテラシー)を身に付ける重要性を説明する。(＃5～6)	・＃4は交流後に提示し、「どのような人生にしたいか」は、人によって異なることを確認する。 ・どのような人生(生活)にしたいかは異なっているも、「お金」とその知識は、誰もが必要になることを理解できるようにする。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
展開① 20分	【使う】 生活設計 (ライフプランニング)	「ライフプランニング」とは何だろうか？(＃7～12) ●どのような人生を送りたいかを考えることが生活設計(ライフプランニング)であることを説明(＃8)する。 (問)ワークシート2の旅行、家の購入、子供の養育、老後、それぞれにどれくらいのお金がかかると思いますか。 ○旅行、老後、各自の人生イベント①、②にかかるお金を予想し、発表する。 ●それぞれに必要なとされる金額を説明(＃9)する。 (問)これらのお金を得たり、準備したりするためにはどうしたらよいでしょう。 ○自分の思い描く生活をするために、どのようにお金を得たり、準備したりするかについて考え、発表する。 ●働いて得る賃金等を「収入」、支払うお金を「支出」ということ及び「お金の流れ」を説明する。(＃10～12)	・＃8を提示し、それぞれを実現するために必要な金額を予想できるようにする。 ・＃9を提示し、旅行、家の購入、子どもの養育(約1,000万円以上)老後(約3,000万円以上)の金額を明らかにし、「収入」と計画的な金銭管理が必要になることを理解できるようにする。 ・＃11については、キャリア教育等の学習内容であるため触れる程度でよい。
展開② 20分	【使う】 家計管理と決済	家計管理はどのように行うとよいだろうか？(＃18～20) (問)日常生活の中で、どのようなことにお金を支払っていますか。 ○お金を支払っているものを考え、発表する。 ●商品には、「物資」と「サービス」があること、支出の内容は「費目」に分けることができることを説明する。(＃20) (問)ワークシート5の費目に、生活するために必要だと考える順位をつけてみましょう。 ○ワークシート5に取り組み、結果を交流する。 ●お金の使い方を考えるときは、ニーズとウォンツを区別すること、優先順位をつけるとよいことを説明する。(＃19) ●「家計管理」について説明する。(＃18)	・生徒が発表した内容は「物資」(形のある商品)と「サービス」(形のない商品)に分類して板書する。 ・「費目」は、＃20を使って、食事に関わることは「食費」、家賃など住居に関わることは「住居費」…と説明する。 ・税金は「非消費支出」であることを触れるとよい。 ・衣食住に関わるもの、ライフラインは必須となること、娯楽は選択的なものであることを理解できるようにする。 ・生徒の考えをもとに、＃19を使って、金銭管理をするための考え方を説明する。 ・＃18を使って、思い描いた人生のためには、日頃(お小遣い)から、支出が収入をこえないようにお金を管理していく必要があることを理解できるようにする。
まとめ 5分	学習の振り返り	●授業のまとめを記入するよう指示する。 ○ワークシートに「今日の授業で分かったこと、実践したこと」を記述する。	・学習した内容で、大切だと思うキーワードを使ってまとめを書くことよいことを伝える。

5. ワークシートの解答・解答例

ワークシート

人生に必要な「お金」を知ろう ～計画的な金銭管理～

年	組	番	名前
---	---	---	----

1. あなたは、どんな人生を送りたいですか。

・ 健康で長生きしたい。

・ 結婚して子供をもちたい。

・ 趣味を楽しみたい。

・ お金持ちになりたい。

など

2. それぞれにかかる「お金」はいくらでしょうか。予想してみましょう。

予想金額を記入する

(1)海外旅行(ハワイ)

100 万 円

(2)老後

各自のイベントを記入する

2,000 万 円

(3)自分の人生イベント①【(例)結婚式を挙げる】

例: 子育て 家を買う 会社をつくる 留学する など

500 万 円

(4)自分の人生イベント②【(例)子供 2 人を育てる】

例: 子育て 家を買う 会社をつくる 留学する など

4,000 万 円

3. 思い描く人生にするために必要となる「お金」をどのように得ますか。

・ 働いて(会社員、自営業、バイト、パート)お金を稼ぐ

・ 投資をしてお金を増やす

・ お小遣いをもらう

など

4. 日常生活では、どのようなことにお金を使いますか。たくさん挙げてみましょう。

食品(米、パン、めん、野菜、肉、魚、お菓子など)、飲料(牛乳、清涼飲料水など)、外食、
住居、家賃、水道、電気、ガス、家具、家電製品、洗剤、トイレトペーパー、
衣服、靴、クリーニング、
医療、医薬品、
電車、バス、通信料、
塾、習い事、趣味用品

など

5. 次の費目を「生活するうえで必要だ」と思う順に番号を書き入れてみましょう。

費 目		必要だと思う順位
①食費	飲食などに必要なお金	(例) 2
②住居費	家賃など	3
③水道光熱費	電気・水道・ガスの料金	1
④通信費	電話やインターネットの料金	5
⑤交通費	移動するのに必要なお金	6
⑥被服費	洋服代など	4
⑦教養娯楽費	学習や娯楽に使うお金	7
⑧ローン返済	クレジットカードやローン・奨学金の返済	8
⑨その他	冠婚葬祭費や医療費など	9

◆授業から分かったこと、実践したいこと◆

(省略)

3

人生に必要な「お金」を知ろう ～計画的な金銭管理～

年 組 番	名前
-------	----

1. あなたは、どんな人生を送りたいですか。

2. それぞれにかかる「お金」はいくらでしょうか。予想してみましょう。

(1)海外旅行(ハワイ)

円

(2)老後

円

(3)自分の人生イベント①【

】

例：子育て 家を買う 会社をつくる 留学する など

円

(4)自分の人生イベント②【

】

例：子育て 家を買う 会社をつくる 留学する など

円

3. 思い描く人生にするために必要となる「お金」をどのように得ますか。

4. 日常生活では、どのようなことにお金を使いますか。たくさん挙げてみましょう。

5. 次の費目を「生活するうえで必要だ」と思う順に番号を書き入れてみましょう。

費 目		必要だと思う順位
①食費	飲食などに必要なお金	
②住居費	家賃など	
③水道光熱費	電気・水道・ガスの料金	
④通信費	電話やインターネットの料金	
⑤交通費	移動するのに必要なお金	
⑥被服費	洋服代など	
⑦教養娯楽費	学習や娯楽に使うお金	
⑧ローン返済	クレジットカードやローン・奨学金の返済	
⑨そのほか	冠婚葬祭費や医療費など	

◆授業から分かったこと、実践したいこと◆

--